

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

衆議院議員候補
(東京16区)



しばかつくん

柴田 かつゆき



命を守る弁護士



社会保障立国

すべての人の生活を守る!

利権政治を終わらせる

透明で公正な政治へ!

「失われた30年」を打破

働く人の手取りを増やす!

法律のプロとして、誰もが生活の不安なく、
明るく元気に暮らせる社会を江戸川区から実現します。

柴田かつゆきプロフィール

1968年生まれ、開成高校・東京大学法学部卒業
弁護士(～2022年 森・濱田松本法律事務所パートナー)
元司法研修所教官(刑事弁護)、元第二東京弁護士会副会長

家族 妻(薬剤師)

好きなこと 大東流合気武術(目録弐段)、柔道(3段)

座右の銘 不貪不瞋不痴(みんなのために、明るく、頑張る)

柴田かつゆき後援会 〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-3-6 4階

TEL 050-8886-1651

MAIL senkyo.kshibata@gmail.com

FAX 03-6808-3121

HP <https://k-shibata.jp>

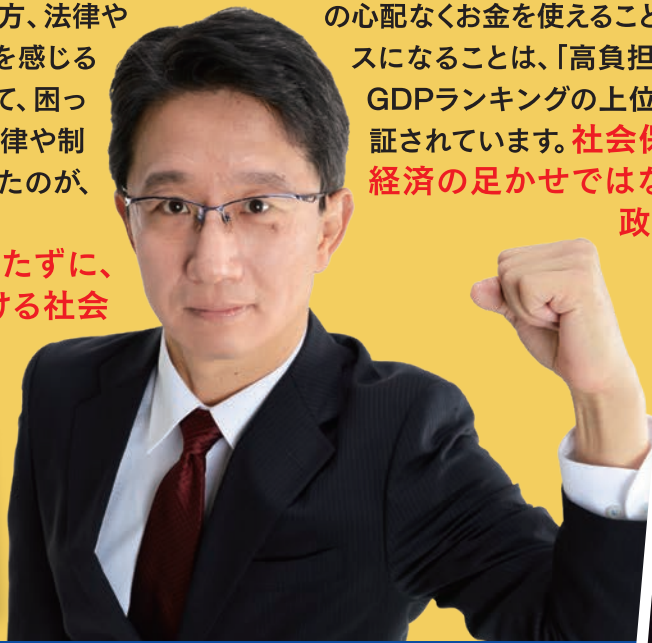


選挙責任者:高濱輝日 東京都江戸川区船堀4-3-6
印刷者:株式会社ユニオンサポートプランニング 東京都江戸川区船堀4-15-11

困っている人を、助げたい

「困っている人を助けるために自分の力を活かしたい」との思いで弁護士の仕事を始めて30年になります。その中で様々な困っている人と出会い、自分の力を尽くしてきましたが、成果が上がった件もある一方、法律や制度の枠内で活動する弁護士の限界を感じることもありました。その限界を乗り越えて、困っている人たちをもっと助けるために、法律や制度を作る立場になる必要があると考えたのが、私が政治を志した理由です。

すべての人が生活への不安を持たずに、明るい気持ちで元気に生きていける社会を作るため、全力を尽くします。



社会保障＝最強の経済政策

「衣食住・医療・介護・教育」を全ての人に保障することは国の基礎です。ベーシックサービスの保障によってみんなが安心して、子どもを産み育て、リスクを冒して挑戦し、老後の心配なくお金を使えることが、経済成長にとってもプラスになることは、「高負担・高福祉」国家が1人あたりGDPランキングの上位を占めている事実からも実証されています。社会保障の充実は決して日本経済の足かせではなく、むしろ「最強の経済政策」と捉えるべきです。

立憲民主党公認候補

柴田かつゆきの思いと政策

利権政治にノー！

「利権政治」とは、政治家と一部の企業や業界が結託し、自分たちの利益を優先させる政治です。

一部の企業や業界団体は、自分たちに有利な法律や政策を期待して特定の政治家に献金し、選挙で支援します。その政治家は支援してくれた企業や業界の意向に沿った法律・政策を実現していきます。その中で、献金できない人たちや

国民全体の利益は後回しにされ、結果として国全体が衰退していくのです。

企業・団体献金の廃止などによって、この利権政治の構造を根本から終わらせなければなりません。



「トリクルアップ」で経済を底上げ

この30年間、強い者（大企業など）をより強くすれば、その他の中小企業や労働者などもその利益にあずかれるという「トリクルダウン」理論の考え方を背景にした新自由主義的政策が進められてきました。その中でも特に、働く人に支払われるお金（給料や外注費など）を「コスト」と見て、できるだけ削る（＝働く人に払うお金を少なくする）ことによって企業が利益を上げることが良しとしてきたことが、日本経済全体をダメにしてきたのです。

働く人たちの手取りを上げることが日本経済全体の底上げにつながるという「トリクルアップ」の考え方に基づいた、最低賃金引き上げ・非正規差別の解消・労働組合の強化・外注先による価格転嫁の促進などの政策を進めます。



詳しくはホームページ、SNSへ

